

全数・定点報告疾患集計表（管内で届出のあった疾患のみ抜粋）

【全数報告疾患】

	疾患名	28週 ～29週	累計 (年)
2類	結核	0	2
4類	レジオネラ症	0	2
	E型肝炎	0	2
5類	百日咳	0	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	2
	梅毒	0	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	2
	アメーバ赤痢	0	1
	急性脳炎	0	1
	水痘(入院例)	0	1
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	0	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1
	多剤耐性緑膿菌感染症	0	1

【定点報告疾患】 ※県より上回っているものは赤字にしています。

疾患名	山武保健所		千葉県	
	28週	29週	28週	29週
インフルエンザ	0	0.33	0.22	0.27
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1.67	2.17	1.22	1.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.67	2.21	1.83
感染性胃腸炎	0.33	2.0	3.47	3.07
手足口病	10.67	12.33	15.4	12.79
伝染性紅斑	0.33	0	0.03	0.05
突発性発疹	0.67	0.33	0.28	0.23
ヘルパンギーナ	0.33	0.33	1.89	1.89
流行性角結膜炎	1.0	1.0	0.29	0.18
急性呼吸器感染症(ARI)	48.33	40.17	59.86	57.32

※定点報告疾患については、該当週に報告数0の疾患は掲載していません。また、第25～29週のグラフを別添しております。

感染症トピックス

TOPICS 1

7月28日は世界・日本肝炎デーです

世界保健機関（WHO）は2010年に、世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を「World Hepatitis Day（世界肝炎デー）」と定め、肝炎に関する啓発活動などの実施を提唱しました。

日本でもこれに呼応し、7月28日を「日本肝炎デー」と制定しています。国や地方公共団体、医療機関や事業主団体などが協力し、肝炎の病態や知識、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検査の受検を促進しています。

ウイルス性肝炎の種類

以下のウイルス性肝炎の他に、肝炎の原因として代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）、代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）、薬物性肝障害（DILI）、自己免疫性肝疾患（AILD）などもあります。

	主な感染経路	特徴	ワクチン	治療
A型肝炎	糞口感染、病原体に汚染された水や食品の摂取による経口感染	・典型的な症状として黄疸、肝腫大、濃色尿、灰白色便がみられ、まれに劇症化し死亡することがあります。	あり (任意接種)	対症療法が中心
B型肝炎	注射器の共用・輸血、性的接触などの感染者の血液や体液との接触、母子感染	・重症化すると劇症肝炎や肝硬変、肝がんを引き起こすことがあります。	あり (定期接種)	急性肝炎:対症療法 慢性肝炎:抗ウイルス薬による治療
C型肝炎	注射器の共用、性的接触などによる感染者の血液や体液への接触	・慢性化すると20年程度で肝硬変や肝細胞がんに至ることがあります。	なし	抗ウイルス薬による治療
D型肝炎	注射器の共用・輸血、性的接触などの感染者の血液や体液との接触、母子感染	・B型肝炎の患者だけに発生し、B型肝炎ウイルスにD型肝炎ウイルスが重複感染すると重篤な疾患への進行が加速します。	B型肝炎ワクチン接種により予防できる。	B型肝炎と同様
E型肝炎	病原体に汚染された飲料水や食物の摂取による経口感染	・多くは1カ月程度で自然治癒しますが、まれに劇症化し死亡することがあります。	なし	対症療法が中心

肝炎の主な症状

風邪症状
(発熱、頭痛、咽頭痛など)



黄疸



眼球の結膜(白目部分)が黄色くみえます。その他にも、皮膚の黄染や褐色尿が見られます。

食欲不振



全身倦怠感



嘔気・嘔吐



腹痛



ウイルス性肝炎に関する誤解と正しい知識

よくある誤解	正しい知識
✕ 肝炎は症状がなければ心配しなくてもよい	○ 肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、ウイルスに感染していても、自覚症状がないまま病気が進行する恐れがあります。感染しているかどうかは検査を受けないと分かりません。
✕ 普通に生活していても感染者からうつる	○ B型・C型・D型肝炎ウイルスは日常生活で感染することはほとんどありません。血液や体液が体内に入ることによって感染します。(A型・E型は主に食べ物を介して感染します)
✕ ピアスや入れ墨は感染と関係ない	○ 同じ針を使用するなど不衛生な器具を使用した場合は、血液を介して感染する可能性があります。
✕ B型・C型肝炎は治療できない	○ 現在は有効な治療法があり、適切な治療により病気の進行を抑えたり、C型肝炎ではウイルス排除が期待できます。

肝炎ウイルスは自覚なしに感染している可能性があります。肝炎ウイルスに感染していても、早期に適切な治療を行うことで、肝炎の治癒あるいは肝硬変や肝がんへの悪化を予防することができます。一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう。

県が委託した医療機関でB型及びC型肝炎ウイルス検査を無料で受けることができます。また、保健所でも無料・匿名の検査を実施しています。詳細についてはホームページをご覧ください。

クリックで確認できます↓

ホームページ
はこちら

TOPICS 2

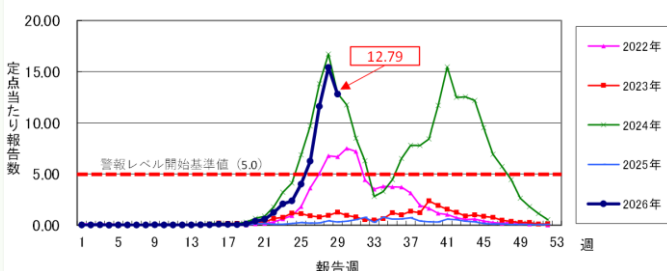
手足口病が流行しています！

本県では、2026年第26週（6月22日から6月28日）における手足口病の定点当たり患者報告数が「6.26」となり、国が定める警報基準値「5」を上回りました。その後も、第27週は11.59（人）、第28週は15.40（人）、第29週は12.79（人）と高い水準で推移しています。

管内では、第28週は10.67（人）、第29週は12.33（人）と警報基準値を上回っており、第26週以降、増加傾向となっています。

手足口病はウイルスによる感染症であり、主に夏に乳幼児を中心に流行します。現在、県内で大きな流行が発生しており、ワクチンや特別な治療法はないため、家庭、保育所、学校等において手洗いなどの基本的な感染防止対策の実施に努めましょう。

図：2022年～2026年第29週までの県内の手足口病の定点当たり報告数



感染症解説 手足口病

主な病原体

コクサッキーウイルスA16 (CA16)、A6 (CA6)、A10 (CA10)、エンテロウイルス71 (EV71) など

症状

感染して3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背（足の甲）などに2～3mmの水疱を伴う複数の発しんが出ます。まれに髄膜炎や脳炎などの重篤な症状を伴い死亡することがあります。

感染経路

- ・飛沫感染
咽頭から排泄されるウイルスが、咳やくしゃみで空気中に飛び散り、それを吸い込んだり目や鼻などの粘膜に付着することで感染が occurs
- ・糞口（経口）感染
便中に排泄されたウイルスにより感染が occurs
- ・接触感染
水疱内容物などからウイルスが付着し、手や物を介して感染が occurs



予防対策 Point解説

手洗いの実施



アルコール消毒が効きにくいいため、流水とせっけんによる手洗いをこまめに行いましょう。

排泄物の適切な処理



治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されるため、おむつ交換などの後は排泄物を適切に処理しましょう。

タオルの共用を避ける



ウイルスが付着したタオルを介して感染することがあるため、個人用タオルやペーパータオルを使用する等の対策を実施しましょう。

千葉県では、「食中毒警報等発令要領」に基づき、6月1日に「食中毒注意報」を発令しましたが、その後、さらに食中毒が多発しやすい気象条件となりましたので、7月17日より「食中毒警報」を発令しています。

発令期間

令和8年7月17日午後2時から令和8年9月30日まで



県民の皆様へ

気温が高くなるこの季節は、細菌の活動が活発になり、細菌を原因とする食中毒が多く発生する季節です。特に、肉の生食、加熱不足によるカンピロバクター、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌O157等による食中毒や、生の魚介類を原因食品とする腸炎ビブリオによる食中毒に注意が必要です。食中毒予防の三原則は「細菌を付けない・細菌を増やさない・細菌をやっつける」です。三原則を意識して、家庭・職場での食中毒を予防しましょう。

【引用文献】

〈厚生労働省 日本肝炎デー・肝臓週間について〉
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kanen/kangen/kanenday.html
 〈IHHS A型肝炎〉
<https://id-info.ihs.go.jp/infectious-diseases/hepatitis-a/index.html>
 〈IHHS B型肝炎〉
<https://id-info.ihs.go.jp/infectious-diseases/hepatitis-b/index.html>
 〈厚生労働省 B型肝炎ワクチン〉
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/hepatitis-b/index.html
 〈IHHS C型肝炎〉
<https://id-info.ihs.go.jp/infectious-diseases/hepatitis-c/index.html>
 〈MSDマニュアルプロフェッショナル版 D型肝炎〉
<https://www.msdmanuals.com/ja-jp/professional/02-%E8%82%9D%E8%83%85%E9%81%E3%E7%96%BE%E6%82%A3/%E8%82%9D%E7%82%8E/d%E5%9F%88%E8%82%9D%E7%82%8E>
 〈WHO Hepatitis D〉
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/hepatitis-d>

〈IHHS E型肝炎〉
<https://id-info.ihs.go.jp/infectious-diseases/hepatitis-e/index.html>
 〈肝炎情報センター 急性肝炎〉
<https://www.kanen.ihs.go.jp/sick/kinds/kyuusei.html>
 〈肝炎情報センター アルコール性肝障害〉
<https://www.kanen.ihs.go.jp/sick/kinds/alcohol.html>
 〈日本内科学会雑誌113巻1号 薬物性肝障害と自己免疫性肝障害〉
https://www.isstage.jst.go.jp/article/naika/113/1/113_32/_pdf
 〈厚生労働省 知って、肝炎 肝炎とは？〉
<https://www.kanen.mhlw.go.jp/about/faq/>
 〈厚生労働省 肝臓総合対策に関するQ&A〉
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/faq.html>
 〈厚生労働省 ウイルス性肝炎について〉
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/04.html>
 〈千葉県 肝炎ウイルス検査〉
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippe/kansenshou/kanen/index02.html>
 〈千葉県 手足口病の流行について（令和8年7月1日）〉
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/press/2026/handfootmouth-disease.html>

〈千葉県感染症情報センター 週報 第27週・第28週・第29週（2026年）〉
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/wr2026.html>
 〈IHHS 手足口病〉
<https://id-info.ihs.go.jp/infectious-diseases/hand-foot-mouth-disease/index.html>
 〈IHHS 手足口病（詳細版）〉
<https://id-info.ihs.go.jp/infectious-diseases/hand-foot-mouth-disease/detail/index.html>
 〈千葉県 食中毒警報の発令（令和8年度）〉
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eishi/press/2026/keihou-r08.html>

山武保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 — 警報基準値 - - - 解除基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみCOVID-19、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

